

支 払 手 段 等 の 輸 出 許 可 申 請 書

税 関 長 殿

申請年月日 \_\_\_\_\_

申請者：

氏名又は名称及び

代表者の氏名 \_\_\_\_\_ (記名押印又は署名)

居住者

(該当分に○)

国

籍 \_\_\_\_\_

非居住者

住所又は所在地 \_\_\_\_\_

担当者

職業又は業種 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

下記のとおり申請します。

1 輸出（又は輸入）しようとする支払手段等 (1) 支払手段等の種類  (2) 数量  (3) 金額	3 輸出（又は輸入）の方法
	4 輸出（又は輸入）の時期
	5 輸出（又は輸入）の理由
2 輸出（若しくは輸入）の相手方又は仕向地（若しくは積出地）	6 その他の事項

上記申請は、

記名押印 \_\_\_\_\_

許可年月日	
許可番号	
許可の有効期間	

(裏面)

(記入要領)

- 1 本申請書は、支払手段等の輸出又は輸入の別に記入すること。この場合において、輸出にあつては様式中「輸入」、「(又は輸入)」、「(若しくは輸入)」及び「(若しくは積出地)」の字句を、輸入にあつては様式中「輸出」及び「仕向地」の字句を消すこと。
- 2 本申請書において支払手段等とは、外国為替及び外国貿易法第19条第1項に規定する支払手段又は同法第6条第1項第11号に規定する証券若しくは同条第1項第10号に規定する貴金属をいう。
- 3 「1 輸出(又は輸入)しようとする支払手段等」欄中「(1) 支払手段等の種類」欄には、支払手段等の具体的名称(アメリカ合衆国〇〇米ドル紙幣、第〇〇回米國財務省証券等)を記入すること。
- 4 「2 輸出(若しくは輸入)の相手方又は仕向地(若しくは積出地)」欄には、輸出又は輸入した後に引き渡しを行う相手方の氏名若しくは名称、住所若しくは所在地(国、又は地域名を含む。)並びに職業若しくは業種を、またこれ以外の場合にあつては、輸出(若しくは輸入)の仕向地(若しくは積出地)を記入すること。
- 5 「3 輸出(又は輸入)の方法」欄には、携帯、国際郵便又は一般の通関手続等、具体的な輸出(又は輸入)の方法を記入すること。
- 6 「5 輸出(又は輸入)の理由」欄には、その理由を簡潔に記載し、詳細については説明する必要がある場合には、別紙として理由書又は説明書を添付すること。
- 7 上記様式に記入することができない場合は、日本産業規格A4の用紙により上記事項の順序に従つて記入するか、別紙用紙を添付して差し支えない。
- 8 本申請書は、日本語により作成すること。